

学校



だより 仁保っ子

広島市立仁保小学校

平成24年 2月号

1月11日(水)～13日(金)の登下校について多数の皆様のご支援・ご協力をいただきありがとうございました。

思いがけない事件で大変ご心配をおかけしましたが、保護者の皆様のご理解と地域の方々の協力で子どもの安全な登下校を行うことができました。13日には、地域安全推進員の方々34名が集まり、下校の見守りを教職員・保護者と共に行ってくださいました。地域の方々に感謝し、これからも連携していきたいものだと思います。

また、31日に広島刑務所より主席矯正処遇官が謝罪にこられ、本日プリントを届けていただきましたので配付させていただきます。

2月は1年で1番短い月であり、また学年の最終月へつなげる大切な月でもあります。下旬には、各学年最後の参観・懇談を計画しております。子ども達の成長をお互いに喜べる日にすべく、教職員一同頑張っています。

2月は、今年度最後の参観・懇談の月です。

- ★ 20日(月) 中学年
- ★ 21日(火) 低学年
- ★ 22日(水) 高学年
- ★ 24日(金) かおり学級



「鬼は外、福は内」

授業後の懇談会では、この一年間の子ども達の成長のあしあとについて話し合いたいと計画しています。

懇談会へのたくさんのご参加、お待ちしております。

かぜにご用心!! 元気だと、油断は大敵 手洗い・うがいの励行を
ノロウイルス予防!! インフルエンザ予防を!!

子ども達の健康管理をよろしくお願いたします。

第14回広島ユネスコ活動奨励賞受賞



本校全員で取り組んでいる「牛乳パックの回収」、地域の社会福祉協議会と連携して取り組んでいる「古切手などの回収」、PTA活動で行った「ペットボトルのキャップ回収」などボランティア活動と環境教育の実践が評価されたものです。特に「牛乳パックの回収」は、平成13年度に児童会が学校全体で少しでも世の中の役に立てる活動をしようと考え、活動開始から本年度で11年目になります。これからもこれらの活動を継続していきたいと思っています。

保護者アンケート(子どもの家庭生活などについて)

ご協力ありがとうございました。大変遅くなりましたが、昨年度のアンケート結果と比較しながらまとめてみました。

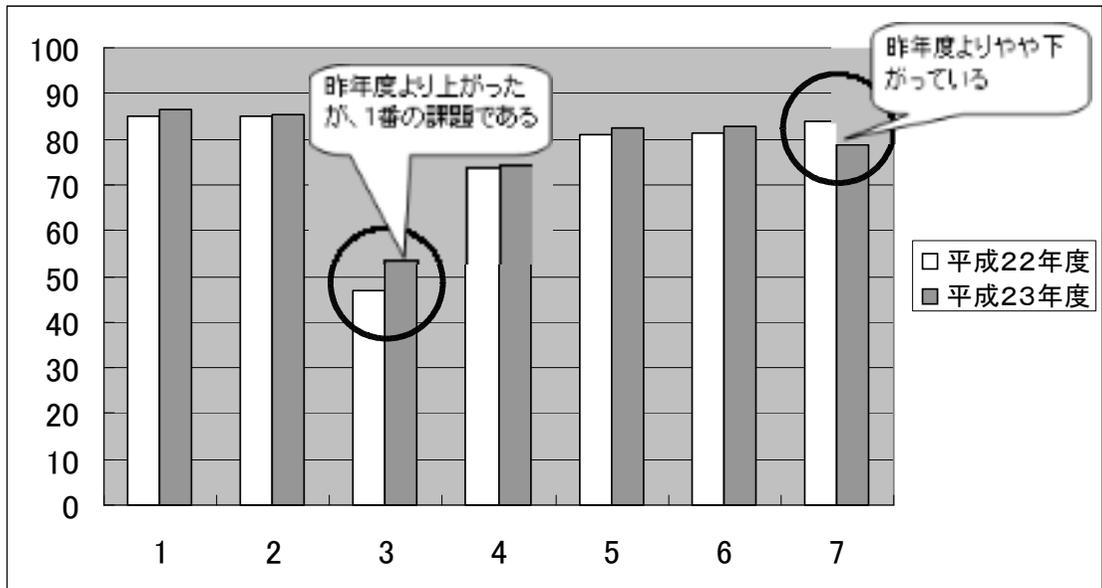
ご家庭での話題にさせていただければと願いながら……………。



平成23年度 保護者(子どもの家庭生活などについて)アンケート結果 仁保小学校

| 設問 | | 平成22年度 | 平成23年度 |
|----|-----------------------------------|--------|--------|
| 1 | 確かなことばの力を…創意工夫している。 | 85.1 | 86.4 |
| 2 | 児童に規律ある学習態度を身に付けさせている。 | 84.9 | 85.2 |
| 3 | 家庭で読書をしていますか。 | 46.8 | 53.9 |
| 4 | 自主的に宿題などの家庭学習をしている。 | 73.5 | 74.2 |
| 5 | 家や近所の人にあいさつをしている。 | 81.1 | 82.6 |
| 6 | 規則正しい生活をしている。 | 81.4 | 82.7 |
| 7 | 学校だより、学年だより、…学校の様子が変わるようになってきている。 | 83.7 | 78.6 |

※ Aとても思う Bだいたい思う Cあまり思わない D思わない (A+B)の割合



回答率 79%

《アンケートを終えて(昨年度と比較しながら)》

- 3の「家庭で読書をしていますか」が、昨年度より7ポイント上がったが、肯定的評価は低く、引き続き課題である。本を読むのが好きだと答えている児童は80.8%いるが、家庭で本を読む姿を保護者が目にする機会が少ないようである。本年度、昨年度より、7ポイント上がった要因は、夏休み以降に新刊が大量に購入されたこと各学級、学年が読書週間等に家読に力を入れたことと考えられる。今後も家読書の取り組みを継続するとともに、日常生活の中で本に親しむ手立てが必要である。7については、家庭と学校との連携について工夫を重ねていきたい。
- 1, 2, 5, 6の設問についてのポイントは、どれも8割を超え、昨年度と比較すると0.3~1.5ポイントアップしている状況である。今後も確かなことばの力を育てる授業づくりと、規律ある学習態度の確立を目指し、さらに取り組んでいきたいと考える。また、規則正しい生活については、学校生活の中での指導はもちろんのこと家庭との連携も取りながら保護者の協力を得る必要がある。
- 4の家庭学習については、昨年度より0.7ポイントアップし、7割越えをキープしている。学校での励ましや家庭での声かけの成果が見られる。今後も、8割越えを目指し、学校と家庭が連携し協力することが大切である。
- 1, 2, 5, 6の設問についてのポイントは、昨年を少しづつ上回る状況であった。8割越えを維持し、学校としての取り組みを保護者に評価していただいていることになる。子どもたちの学力、生活力の向上につながるよう今後も学校で、全教職員で研究・指導に努めていく必要がある。